寺報

No.654

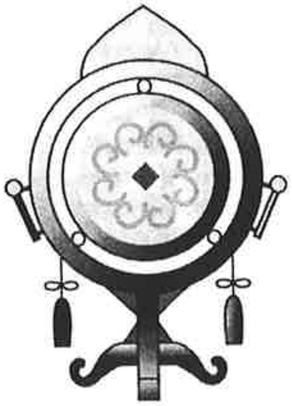
令和4年2月

蓮華寺　発行

御聖訓

何ぞ同く信心の力を以てせば、妄に邪義の詞を宗ばん哉。

『立正安国論』



（解説）

「我々は生きている限り、現世の安穏と来世の安楽を願うものである。

しかし様々な状況から、思い通りにいかなくなると善悪の判断もせずに、色々な宗教を信じたりするものである。

でも、後生善処を願い佛法を信ずるのであるならばその心自体はほめられるものと言えよう。

だが、同じ信仰をするのであれば決して邪教を信じてはならない。」と日蓮大聖人は力説します。

当時も今以上に沢山の宗教があったでしょう。

しかし、我々が尊崇すべきは正法であります。

正法とはお釈迦様の真意であり、その結論が説かれた『法華経』です。

最近も相変わらず、理解しがたい宗教が出来ているようです。

我々は、こういう物に惑わされる事なく、常に『法華経』に帰依し、『日蓮大聖人』を正しい師として信仰していく事が大切なのです。

そうする事で、後生の安楽が約束され、安心して生きていく事が出来るのです。

どうか、正しい信念を持って『法華経』『お題目』の信仰をしていきましょう。

節分会のお知らせ

二月三日（木）午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成十年生れ
	数え四十二歳	昭和五十六年生れ
女性大厄	数え十九歳	平成十六年生れ
	数え三十三歳	平成二年生れ
年男・年女（寅年）	大正十五年（昭和元年）生れ	
	昭和十三年・二十五年・三十七年 四十九年・六十一年生れ	
	平成十年・二十二年・令和四年生れ	
その他	・前厄・後厄（厄年の前後）	
	・還暦（六十一歳）・古稀（七十歳） ・喜寿（七十七歳）・傘寿（八十歳） ・米寿（八十八歳）・卒寿（九十歳） ・白寿（九十九歳） ㊟いずれも数え年です。	
	・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。	

★厄払い・三千五百円
◎豆まき◎祈願読上げ
◎ご祈祷◎厄札◎絵馬
◎福豆のお土産等

㊟本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。
なお、前もって預かられても結構です。

★一般祈願・千円（◎節分札◎祈願読上げ）
【随時受付中】

当山蓮華寺では、本年大厄（前厄・後厄も含む）に当ります男女、また干支（えと）の寅【とら】年に当ります年男・年女、更に今年特別にご祈祷を希望する方々に、まず厄払いのご祈祷とお加持を受けて戴き、次に豆まき（落花生）、最後に絵馬と厄除けのお札、お土産をお渡し致します。

この時、お渡しする「絵馬」は、その場か後でも差し支えありませんが、住所・氏名・数え年、そして一年

間の願い事を書いてお寺にお納め下さい。

お寺ではこれを一年間、大本堂の御寳前に奉納し毎朝祈願のお経をお上げします。

また、厄除けのお札はご本人が寝ている部屋の柱の上の方に、一年間貼って下さい。

向きは、寝ている頭の方向が最もよろしいでしょう。

必ずお願い致します。

厄払い

私達が一生の中で、特に災難に遭う恐れが多く、慎みたい年を『厄年（やくどし）』といいます。

男性は二十五歳と四十二歳、女性は十九歳と三十三歳の、いずれも数え年を『大厄』といい、またその前後の年を『前厄』『後厄』といいまして、この三年間を慎む風習が昔からあります。

厄年に当る人が、神仏の前で厄災の起こらないようにと祈念する行事を「厄払い」、また除厄（じょやく）祈祷といいます。

日蓮大聖人は、法華経を信仰する事で「三十三の厄、転じて三十三の幸いとならせ給うべし」と教えられ、昔から信者の厄年の男女は、法華経・お題目の力によって除厄得幸を祈ってきました。

当山では、厄年以外の今年【寅年】の『年男・年女』また『還暦』『古稀』『喜寿』『傘寿』『米寿』『卒寿』『白寿』等、更にその年の除災を願う方々は、どなたでもご祈祷を受ける事が出来ます。

また一般の参拝の方々は、除厄された方よりまかれる豆を拾い、今年の福を分けてもらって下さい。
お願いします。

節分と豆まき

昔は一年のうちの『立春・立夏・立秋・立冬』の前日を「節分」といい、年に四回ありました。

しかし、旧暦を使用していた当時の歴法では、年越しと重なる『立春』が重んじられ、室町時代の中頃からは『立春』の前日だけを『節分』というようになりました。

この日に行う行事を『追儺（ついな）』といいます。

『追儺』とは難を追い払うという意味で【鬼やらい】【厄払い】ともいい、我々に害をなし、また苦しめる

疫病・悪霊・厄神を払い、幸せをもたらす善霊・福神・善神を向い入れる行事です。

豆まきも千七百年以上前の中国の書物に「悪鬼を払うのに五穀や大豆を以て追い払う」と書かれているように古くから行われていた行事です。

やがて、我が国でも宮中で七百年以上前には取り入れられ、それが江戸時代には民間の神社仏閣でも行われるようになり、いつの間にか「鬼は外、福は内」の掛け声の元、庶民の間に広まっていきました。

また、青森では落花生をまく事が多いですが、全国的には大豆をまく習慣が一般となっています。

これは大豆には「季節の悪いもの退け、また払う」という意味があり、またどの豆も鬼の魔目（まめ）をつぶす事が出来、転じて魔を滅する事が出来るという意味から使われたといわれています。

豆まきの後で、自分の数え年より一粒よけいに豆を食べる風習がありますが、これは幸せが更に一年続くようにとの願いが込められています。

みんなで参拝しましょう

盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（倶生霊神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・倶生霊神様に

『一ケ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』

と、御礼する事が大事なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、倶生霊神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。

ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事です。

『星　祭』お申込みのお知らせ

当山では毎年三月に行われます『星祭』の期間中皆様のご家族のお名前と数え年を記入しました「星」（剣守札）をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散して、一年間無事安泰でありますようにと祈願致します。

その時に、皆様がお受けになります「星」のお申込みは、事務所に置いてあります専用の用紙に、ご家族のお名前・性別・数え年・住所等をお書きの上、お早めにお申込み下さい。

※剣守札（星）【一体・・・・二百円】

どうか、檀信徒の皆様は、是非とも毎年この「星」（剣守札）をお申込み戴き、そして、いまだ知らない方がおりましたら、お勧めになりますようにお願い致します。

二月十三日（日）より受付します。

永代供養堂

当山会館の三階にあります「永代供養堂」は、今後後を見る事が出来ない仏様をご供養する所です。

まず、当山指定のお位牌の正面に『ご戒名』または『先祖代々之諸精霊』と彫り、裏面には施主名を彫り御寶前にお祀りします。

そして、蓮華寺のお寺が続く限り、永遠にご供養して参ります。

ここでは、毎朝僧侶がお経を上げ、ご命日の日にはご戒名を読み上げますし、また先祖代々のご供養はお申込みのあった日に読み上げをしています。

永代供養塔

当山境内にあります「永代供養塔」は、今後、後を見る事が出来ない『個人のお骨』また『先祖代々のお骨』を埋骨し、永代に渡りご供養しております。

ここは、毎月僧侶がお経を上げ、ご供養を欠かす事はありません。

(注)どちらも詳細は、当山事務所までご相談下さい。

☎０１７―７７６―５８４０

『御守護』札を貼付しましょう！

当山で毎年年末に用意致します『御守護札』は、蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らないで、貼付していない家庭も沢山あります。どうか、今年度より貼付するようにお願い致します。

（五百円）

また、その年に家でご不幸などがあった場合でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

☆霊　断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。なお、宗旨宗派は問いません。

【相談料は原則として三千円となります】

『位牌壇』募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近は仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

◎三年以上使用し、上位の位牌壇に上がりたい方には数があるかぎり無料でお譲り致します。ですから、【三席】から【特席】にも上がれます。

詳細は事務所まで！

身に着ける「お守り」

当山では、次の三つのお守りを、全檀信徒の皆様に必ず身に着けて戴きますようにお願いしています。

霊　神　符

生命に係わる事故や災難から身を護るお守りで、必ず身に着けて、毎月交換して戴きます。

五段のお守り

我々の計り知れない死霊（しりょう）・生霊（いきりょう）・野狐（やこ）・厄神（やくじん）・呪詛（じゅそ）の五段の邪気（じゃき）から身を護るお守りで、年に一回交換します。

カード型ご本尊

日蓮宗の大曼荼羅（だいまんだら）御本尊を小型化したお守りで、右の二つのお守りを、更に強くお護りして戴く為に一緒に身に着け、年に一回交換します。

『霊神符』を持ちましょう！

最近は思いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『霊神符』（お守り）を肌身離さずお持ちになりますようにお願いします。

【一体・・百五十円】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『提灯』！募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』（トーロー）を募集致します。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

二月の行事

一　日（火）盛運祈願会　午後一時より

・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
・お守りは、お勤めに参拝してから戴きましょう。
・聖典（お教本）と数珠は必ずご持参下さい。

寒修行

二日（水）まで連日〈小本堂〉
午後七時より一時間

三　日（木）節分会　午後六時より

十三日（日）日蓮大聖人のご命日　午後一時より

・お経（如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
　　　如来寿量品第十六（真読・漢　字読み）

十五日（火）妙見小祭　朝のお勤め中

二十八日（月）鬼子母神小祭　朝のお勤め中

☆奉仕のお知らせ

三　日（木）「節分会」のお手伝いと後片付け
教宣部男女・・午後三時より

＊今月は、「節分会」の大行事がありますので、お手伝いの方が沢山必要です。
どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

㊟一般檀信徒の方でご奉仕出来ます方は、当日時間までにご集合下さい。

◎奉仕部長・山田兼補　◎伝道部長・小野正春
◎教宣部長・杉淵昌三

檀信徒研修会は
三月までお休みです

『十三日のお勤め』
に参拝しましょう！

㊟十三日の『日蓮大聖人様のご命日』のお勤め用に、お経練習の【CD・お経本】を販売しています。
（詳細は事務所まで）